

## 2016年度子どものまちづくり応援事業実施報告書（1）

NPO 法人 ミニシティ・プラス

### 1. 応募内容

「ONE DAY TRIP 世界へ扉をひらけ！！」

～松田町国際交流イベントへ参加し、多くの外国人のみなさんと交流深めよう～

### 2. 応募者

高校1年生4名（足柄上郡山北町）

### 3. 応募理由

ふだん外国の人に接することのない小中学生が身近に交流できるイベントを地元でつくりたい。

### 4. 関係機関・団体等

- ①NPO 法人夢キューブ：足柄地域のまちづくり団体、高校生の活動を支援
- ②松田町政策推進課：国際交流事業の推進を担当、まつだ産業まつり国際交流ブース出展
- ③特定非営利活動法人横浜 NGO 連絡会：よこはま国際フェスタ 2016 の主催者

### 5. 活動内容

#### ①松田町長訪問（8月16日）

足柄地域のまちづくり活動を行っている「NPO 法人夢キューブ」が、毎年9月に開催「まつだ産業まつり」での国際交流ブースの運営協力を行うことになり、そこに応募の高校生が企画運営の主体者として関わることになった。主催者である松田町の目的や意図を聞くために、松田町長と担当部署の政策推進課を訪問して懇談を行った。

役場によると、松田町は居住外国人が少なく町民が外国人と交流する機会が少ない。2020年のオリンピック東京開催へ向けて増えるであろう来訪外国人をもてなすような機会をつくっていききたい、まつだ産業まつりもそんな場にしたい、という願いを聞いた。町長からは、若い人がどんどん自由な発想で企画してほしいと、激励された。

・まつだ産業まつり

<https://town.matsuda.kanagawa.jp/site/kankou-sub/19th-sangyo-matsuri.html>

## ②プロジェクト参加者募集

産業まつりでの出展企画を立てるために、まずは「国際交流イベント」を体験することにし、「よこはま国際フェスタ 2016」を見学することにした。また、同時に松田町内の子どもにも本プロジェクトの企画運営に参加してもらおうと、NPO 法人夢キューブが、松田町からよこはま国際フェスタへの見学ツアーを企画、参加者を募集した。松田町民の小中学生2名の応募があり、仲間に加わった。

## ③よこはま国際フェスタ見学ツアー実施（10月8日）

フェスタ当日は雨であったが、数多くの国際支援、外国人支援の NGO・NPO、そしてアフリカ開発会議に合わせてアフリカ各国の大使館や関係団体が出展していた。フェスタ主催者の横浜 NGO 連絡会の協力もあり、数多くのブースを訪問してそれぞれの活動を見学・体験するとともに、まつり産業まつりのブースへの出店協力を打診した。

## ④企画会議（11月3日）

応募の高校生と、当日運営参加の中高生で集まり、まつり当日の企画について松田町で会議を行った。前回のツアー後、事務局が各国際支援団体と調整し、フィリピンの生活・就業支援を行っている2団体、アフリカ・ブルキナファソから日本で事業展開している1家族計3者の協力を得ることになった。

また、中高生からのアイデアを受け、来場者向けの「クイズコーナー」「カフェコーナー」「ゲームコーナー」などを、彼等自身が運営することになり、各人がそれぞれ当日までに準備することになった。

## ⑤松田産業まつり出展（11月27日）

### 【出展内容】

#### ・国際交流カフェ

ブース内に喫茶コーナーを設置、ブルキナファソのバオバブのお茶を始め、色んな国の飲み物やお菓子を提供し、来場者が気軽に会話ができるようにした。また、町の招聘に応じて来場した英会話学校講師などもカフェに訪れ、運営の中高生やブース来場のお客さんたちと英会話を楽しんだ。

#### ・国際理解クイズ

中高生が自ら調べて出題するクイズを来場者に向けて行い、国際理解を促した。

#### ・国旗つりゲーム

国旗の国名をあてる釣りゲームを製作して実施。特に小さい子どもが多く参加していた。

#### ・小学生しごと体験受け入れ

まつり主催者の企画に協力。ブースの PR チラシ配りやゲーム参加の小さい子どもの手伝

いなどを「しごと体験」として行った。

・協力団体等出店

- ・HAYA-HAY（フィリピンの生活支援）：小麦粉袋リサイクルバッグ販売
- ・フォフォケータリングサービス（ブルキナファソ）：特産物販売
- ・LOOB JAPAN：まつり出店協力（フィリピンの生活支援）：小物販売・写真展示

## 6. イベント当日インタビュー

### ①企画側の青少年の声

Tさん（応募者の高校生）：外国の方とのこんな（交流）イベントなどは初めてで、（事前準備はしたけども）実際ここにきてみて、何を考えればいいのかも、わからないし、難しいと思いました。（事前に国際フェスタで）いろんなところを回って、（イベントの）見本を見せてもらって、今日、こうやって担当として参加しているのも良い機会、そういうことがうれしいですし、勉強の一部だと思いました。

Yさん（事前見学から参加した松田町の小学生）：最初の計画から参加すると、こういうふうな大きいイベントの本番とか、今までの計画の話し合いがあったから、すごくやりやすいし、（今回の外国人との交流では）英語は難しくてしゃべれないけど、戸惑うことがそんなにはなかったと思う。外国人に日本のことを話したり、外国人と触れ合う機会だし、他にもいろんな人がいるし、すごく楽しかったし、不安に思うことはなかった。また参加させていただきます！

### ②イベント主催者の声

（Q: 今回のように、子どもがまちづくりに参画することについてどのように思いますか？）  
本山町長：楽しそうにやっているから、まずはそれが一番いいことです。外に向けていろんなことを学ぶと、小さい日本とか、小さな松田町で考えていくよりも、幅が広くなり、ものごとの考え方が潤う。そういう時代にこれからなっていくところの、橋渡しのように、このような取り組みをする人たちが増えてくれば、日本は明るいですね。

（子どもに）こういったチャレンジの機会があって、「難しかった」という感想が出る経験をできたことごきいことだと私は思います。教育としても、社会に出るまえから経験を積めるすばらしい取り組みだと思う。そういったものに対して、どんどん応援するし、もっと遊びに来てください。

出展したNGOの方々にも感謝されているし、こういう子が松田からどんどん増えてくると面白いと思うけれど、中学校くらいになるといろいろあって難しい。なんとなく個性を無くしているなとも思う。だからこういう機会があって、どんどん中学生たちも参加してくれればいいけれども、今はお客さんで参加して来てくれる。今後、中学生が運営するブース

なんてできるように考えていかなきゃいけないし、中学生と一緒にものを売ったり、そういった役割をもっていいと思う。(彼等の力も活かさないと) もったいない。

### 8. コーディネーターコメント

松田町から参加してくれた小学生の彼女は、横浜の見学ツアーでいろんなものを体験として吸収し、そこから自信をつけて、地元に戻ってきた時に地元の子をどんどん呼び入れて一緒に生き活きと活動していた。外で学んだ、見聞きした、活動したものを、地元にもどって、自信をもって展開するということは、まちづくりへの子どもの参画にとって、一つの有効な手法だと気づきました。

### 9. 当日写真

		
ワールドクイズ	ワールドクイズ	ワールドクイズ
		
世界のお菓子	国旗つり	フィリピン支援 NGO
		
ワールド・カフェでおもてなし	ワールド・カフェで英語の交流	ワールド・カフェで英語の交流



## 10. 経費

費目	細目	金額	摘要
人件費	NPO コーディネーター費用 8/16,10/8,11/3,11/27 (交通費込)	80,000	準備会議3日、イベント当日1日×2人=8人×1万
交通費	10/8 こども交通費	7,900	松田町2人、山北2人
	出店者交通費	10,610	出店3団体6人
材料費	10/8 国際フェスタツアー	3,400	WS参加費等
	11/27 イベント当日	25,848	ブース装飾、カフェ材料等
賄い費	10/8 国際フェスタ	4,000	昼食
	11/27 イベント当日	4,100	昼食
合計		135,858	